

# 一般質問をしました (2月17日)

## 新型コロナ感染症による 統計調査への影響について

的統計についての重大性の認識を聞き、インフラ整備や子育てなど幅広い行政施策の基礎であり、民間企業等における経済活動の判断基準となるなど、社会全体にとって重要なと答えました。

コロナ禍で中止や変更となった統計調査について、仙台市への影響についても質し、必要に応じ、関係部局と連携して代用データの活用を検討するなど、いずれも適切な対応に努めていく考えであると答弁しました。

## 保育の質の向上と 地域拠点保育所の機能強化

仙台市は22カ所の公立保育所を「地域拠点保育所」とし、経験の浅い運営主体の相談や支援をすると位置づけているが、実態や今後の対応について質し、主に小規模保育施設等を対象にした巡回相談等を通じて、保育の質の向上に取り組んできた。今後は、不審者対応訓練の実施等、防犯対策の機能強化を図ると答えました。

保育所等の指導監査について国の研究会の報告書では、書面監査の実施も可能とされたことに關し、これまで通り現地検査での指導監査を求め、緊急



事態宣言期間等を除いては、実地での監査を行ってきたところであり、引き続き、実地監査を基本とするとの答弁でした。

改訂は各保育所の協力や日程に難しさ、生徒が生きて残る可能性があること、生徒が受け取った手帳の記入欄を確認するため、「生きる力」の欄に「かみこみや生活を育てる」「自分で育てる」「自分で育てる」「自分で育てる」「自分で育てる」「自分で育てる」の6種類を設けた。仙台市立保育所の保育理念や保育内容についてまとめた「仙台市立保育一部抜粋」

## 非正規女性労働者への支援

公務非正規女性労働者の9割以上が将来への不安を抱えていた調査結果の所見について、非正規雇用の方

に共通の状況と認識しており、男女

間雇用格差の問題は未だ大きく、賃金などの待遇面をはじめとして様々な課題が残されている。関係機関と連携をしながら活用できる制度の周知や労働相談の実施など、働き方の違いによって不利益を被ることのないよう、努めさせていただいと答えました。

市長が所信表明で、生きづらさを抱えた女性や若者が安心できる環境を整え検討を進めると述べたが、実効性のある取り組みを求め、新年度「(仮称)女性・若者活躍推進会議」を設置し、支援活動などをを行う方々と意見交換を行うことで困難の実情やその背景を探り、必要な支援へつなげていきたいと考えていると答えました。

## 米の消費拡大に向けた 取り組み

ライフスタイルの多様化や糖質制限ダイエットによって糖質を敬遠することによる米の消費低下がある中、国では一人当たりの米の消費の減少傾向に歯止めをかけることが示されているが、受け止め取り組みについて聞きました。

ごはんを中心に据えた和食は栄養バランスに優れ、健康面にメリットがある。食品としての米の優位性を広く知らせ、消費拡大を図りながら、日本の食文化を次の世代へと継承していかたい。JA仙台と連携しての消費者向けの新米試食会等のイベント支援や、今年度より学校給食に提供する環境保全米の生産支援も開始した。また、災害による停電等に備え、鍋やカセットコンロ等を用いた米の炊飯手法や米の循環保管について、防災・減災アドバイザーによるテレビ・ラジオ出演の機会なども活用し浸透を図っていく。保育所や学校等でも米の消費拡大の視点からも望ましい食習慣を身につけるよう取り組むと答えました。



とれたて仙台  
仙台の大粒の旨うまい

仙台市公式ウェブサイト  
仙台市地元に貢献するタイ  
ムリーな情報を発信

## ひぐちのりこ 市議会ニュースレター

# あったかトーク

第40号 2022年春号

ひぐちのりこ 事務所 (青葉区版)
発行人 撻口 典子
1959年仙台市生まれ 管理栄養士 保育士 社民フォーラム市議団
●総務財政常任委員会 ●文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会 執委員長
●議会運営委員

## 新年度施策の柱は

# 「世界に誇る魅力と活力を生み出すまちづくり」 「多様な視点から一人ひとりの活躍を 支えるまちづくり」

## 追加補正で中小事業者への 事業継続等支援

新型コロナ感染症の影響で売上が大きく減少した中小事業者の事業継続等の支援のため、国の事業復活支援金受給者に上乗せして中小企業等事業復活支援給付金が提案されました。また昨年末に支給決定した子育て世帯への臨時特別給付金(10万円)について、昨年9月以降の離婚などで届かなかった支給対象者への支給についても提案されました。

「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する抗議に関する件」決議が採択されました。



3月8日国際女性デーの日、社民フォーラム市議団は「ミモザのコサージュ」で気合を入れました。

2022年第1回定例市議会は、2月8日から3月14日の日程で行われ、一般会計予算や条例改正案など計79件の議案審査が行われました。

郡市長から施政方針の表明があり「防災力に磨きをかけ、世界を視野に、新たなまちづくりのステージへの扉を開いた」ことが基調に掲げられました。

主な施策として、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合化、大手門復元など仙台城跡の整備、東北大大学との連携によるスパーシティ構想の推進などを掲げました。人の活躍こそがまちを育むという考え方の下、市民が活躍できる環境づくりや孤立や貧困、引きこもりなど、困難を抱える方々への支援などに取り組む決意を示しました。

## 過去最大の当初予算

仙台市2022年度の一般会計は、コロナ禍におけるワクチン接種費や医療提供体制にかかる国庫支出金の大

幅増および、緩やかな景気回復が見込まれ、法人市民税、固定資産税の増加などで対前年度比2.9%増の約5,929億円という過去最大規模の当初予算となりました。

特別会計は約3,151億円、企業会計は約2,296円で、総額1兆1,376億円となり、11年連続の1兆円超えとなりました。

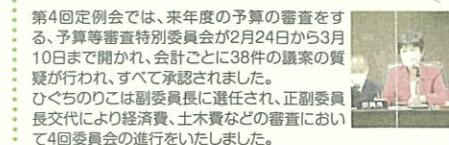
## 小学校4年まで35人 以下学級を拡大

改正案では、新型コロナ感染症対策のための保育所職員、35人以下学級を小学4年生まで拡大するため、教職員等144人を増員するための職員定数条例の改正案、市立病院に腎臓内科を新設する案などが上程されました。

国庫補正予算に対応して、引っ越しワンストップサービス対応の住民情報システム運用経費、保育士、放課後児童支援員等の処遇改善の補助金などが計上されました。

## 予算等審査特別委員会で副委員長を担いました

第4回定例会では、来年度の予算の審査をする、予算等審査特別委員会が2月24日から3月10日まで開かれ、会計ごとに38件の議案の質疑が行われ、すべて承認されました。ひぐちのりこは副委員長に選任され、正副委員長交代により経済費、土木費などの審査において4回委員会の進行をいたしました。



●味の素 調山公園	●七十七銀行 中江	●ひぐちのりこ事務所
●北西四丁目駅	●石井屋 ●	〒980-0011
●二日町北四丁目	●ザリガニ 仙台市青葉区上杉3丁目9-31	仙台市青葉区上杉3丁目9-31
●九信精肉店	●ブリマヴェーラ杜王101	ブリマヴェーラ杜王101
●河北仙台	TEL.022-398-8171	FAX.022-398-8172
●ヒグチのりこ事務所	セブンイレブン側からお入り下さい。	お気軽にお立ち寄り下さい!
●上杉山通小学校	上杉山通小学校	上杉山通小学校

